

(別紙)

## スケジュール

人権ディフェンダーになるための4日間集中プログラム<ユース向け>

日程	12月7日(土)	12月8日(日)	12月14日(土)	12月15日(日)
9:30	01 レクチャー・ワークショップ 人権の基礎を学ぶ	02 ワークショップ 性の多様性を話し合う	03 フィールドワーク 多様な性のあり方を体感する	04 アクションプラン 権利を守るために行動する
	オリエンテーション プログラム① 「気づき」から「行動」へ	プログラム② 多様な性ってなんだろう?~わたしを含めた、多様な性を考える~	プログラム④ 新宿で学ぶ(その1)	プログラム⑥ 私とあなたの権利を考える
12:00	NPO法人国際理解教育センター ERIC	認定NPO法人ReBit	鈴木茂義 (NPO法人プライドハウス東京)	甲斐田万智子 (認定NPO法人国際子ども権利センター (シーライツ)代表理事、文京学院大学・ 立教大学講師)
	参加者同士で対話しながら、あなた自身の人権についてのイメージを振り返ります。 人権の基礎知識を学びあう態度を、アクティビティを通して学びます。	LGBTQ+とSOGIEについての基礎知識を学びます。 「普通」「当たり前」を問い直し、自分と社会のつながりを見つめるワークショップを行います。	日本で初めての常設のLGBTQ+に関する施設「プライドハウス東京レガシー」を訪問します。設立の経緯や役割、活動の内容についてスタッフからお話を伺います。	子どもの権利に関する基礎知識についてのレクチャーとワークショップを行います。 権利とは何かを知り、子どもの権利を守るために必要なことについて学びます。
昼休憩				
13:00	アクティビティ ①共通基礎づくり ②深く対話的に学び合う ③今後のプログラムの流れと期待すること	プログラム③ 性暴力被害を考える 大藪順子(フォトジャーナリスト) STAND Still 性暴力被害当事者(サバイバー)へのサポートや二次被害の課題についてお話を伺います。また、被写体にされがちな人たちが撮影者になる意味を考えるための写真ワークショップも行います。	プログラム⑤ 新宿で学ぶ(その2) 長村さと子 (一社)こどもまっふ共同代表 新宿二丁目の街を歩き、「どんな性のあり方の人でも安心して集える場所」として二丁目に立地する足湯カフェ「どん浴」を訪問します。経営者の長村さと子さんやスタッフの方から、性的マイノリティの中の多様性についてお話を伺います。	プログラム⑦ まとめとふりかえり NPO法人国際理解教育センター ERIC 4日間を振り返りながら、自分の身の回りのできることや目標を整理し、気づきを行動につなげるための行動計画を作成します。
16:30 17:00				
会場	東京都人権プラザ	東京都人権プラザ	プライドハウス東京レガシー 足湯cafe&bar どん浴	東京都人権プラザ

### 講師

- ・NPO法人国際理解教育センターERIC
- ・認定NPO法人ReBit
- ・大藪順子(フォトジャーナリスト、Picture This Japanプロジェクト代表)
- ・STAND Still(サバイバーの方々による任意団体)
- ・鈴木茂義(NPO法人プライドハウス東京) フィールドワーク:プライドハウス東京レガシー
- ・長村さと子(一社)こどもまっふ共同代表 フィールドワーク:足湯cafe&bar どん浴
- ・甲斐田万智子(文京学院大学・立教大学講師、認定NPO法人国際子ども権利センター(シーライツ)代表理事)

### グラウンドルール(参加に当たっての約束・注意事項)

- ①「安全・安心」皆さんの安全に最大限配慮してプログラムを行います。心配なことがあればいつでもスタッフに相談できます。
- ②「プライバシー」プログラムで知り得たお互いのプライバシーは口外しません。また参加に際して本名を名乗る必要はありません。好きな名前前で参加できます。
- ③「傾聴」相手の話を遮らずに最後まで聞きます。お互いを尊重し、相手を否定しません。
- ④「無理をしない」あなたの状況について、他の人に無理に話す必要はありません。途中で気分が悪くなった場合はいつでも退出・休憩できます。
- ⑤「差別を許さない」ジェンダー・人種・年齢等に基づく差別的な発言や行動は許容しません。問題のある場合は退場していただきます。
- ⑥「撮影禁止」録画、録音、撮影は禁止します。主催者も、皆さんに無断で録画、録音、撮影は行いません。